

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870501636
法人名	新居浜医療生活協同組合
事業所名	グループホームあおぞら
所在地	愛媛県新居浜市南小松原町8-68
自己評価作成日	平成24年11月30日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成24年12月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

○入所者の高齢化に伴い能力の低下がみられるも、本人の思いを大切にケアに力をいれています。（例：最期まで口から食べたい）○利用者が和気藹々として楽しく暮せようと努めています。○職員は、認知症を理解し、支援に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

●玄関には、職員が植えた葉ボタンやシクラメンの鉢植えを飾っておられた。事業所は、建物の2階に位置しており、南側に面する廊下は日当たりが良く、冬場はとても暖かい。テーブルと椅子が配されており、窓からは河川敷の様子が眺められ、利用者のお気に入りの場所になっている。ベランダのプランターには、ねぎや春菊、サニーレタスを育てておられ、季節の花もあり、窓越しに見て利用者は喜ばれるようだ。居間には、利用者と職員と一緒に飾りつけをしたクリスマスツリーが飾られていた。
●開設以来、「だしは鯉節と昆布で取る」「冷凍食品は使わない」ことを決めておられ、旬の食材を使用して食事を手作りされている。調理担当職員が、隔日出勤して昼・夕食を作り、その他は、出勤職員が交代で作っておられる。利用者の誕生日は、赤飯でお祝いしておられ、おかずは刺身・から揚げのどちらかを選ぶようになっている。

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる （参考項目：23, 24, 25）	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています （参考項目：9, 10, 19）	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある （参考項目：18, 38）	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている （参考項目：2, 20）	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている （参考項目：38）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている （参考項目：4）	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている （参考項目：36, 37）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている （参考項目：11, 12）	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている （参考項目：49）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている （参考項目：30, 31）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている （参考項目：28）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

IV.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含まれます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含まれます。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含まれます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホームあおぞら

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏 名

前谷 満里子

評価完了日

平成24年11月30日

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価) 理念を意識して職務に当たるよう、理念を確認出来るよう名刺サイズに書いて各自携行している。	
			(外部評価) 開設時作成した「自分にされて嫌なことは、人にもしません」等、5項目の介護理念は、職員が出勤時に確認できるよう、手洗い場の目につく場所に掲示されている。又、職員が、日々、理念に立ち戻りながらケアに取り組めるように、個々に理念が記されたカードを携帯されている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域の環境も変化し、ホームへ地域の方の訪問が減っています、その為、ホームから地域へと方向転換し、公民館での催しの参加、外出やボランティアの受入を多くしました。	
			(外部評価) 事業所の建物1階アパートの住人とあいさつを交わしたり、時には駐車場をお貸しするようなこともある。10月に地域の公民館で、「お笑いの会」が行われた際には、利用者も参加して地域の方達と楽しい時間を過ごされた。月に1回ほど、事業所に「フラダンス」や「大正琴」のボランティアの訪問があり、その際には、近所にチラシをポスティングして誘っておられるが、地域内は高齢化していることもあって、参加にはつながりにくいようだ。地域とのおつきあいが、なかなか広がらない現状であるため、管理者は今後、民生委員の方と相談して、地元のコーラスグループの訪問をお願いされたり、昼間留守宅の「宅配物預かり拠点」になる等、「助けたり、助けられたりする関係」作りに工夫していきたいと考えておられた。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 雇用にはつながらなかったが、障害者自立支援の雇用促進の受け入れに取り組みました。認知症の方と共生し、住み良い社会づくりに貢献していきたい。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 評価への取組み状況等について報告や話し 合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活 かしている	(自己評価) 前年度の外部評価の意見を取り入れケアサービスの実際 に取り組んではを踏まえて、ケアの実際を見て頂き、質の向上 を図りたいのですが、今後の課題として残っています。	
			(外部評価) 今年度、初回となる8月の会議時には、踊りのボランティアの 方が参加してくださり、「炭坑節」等を披露してくださった。9 月の会議は、「敬老会」として開催され、民生委員の方とご家 族7名の参加があり、職員の「ちょうさ踊り」等を利用者と一緒 に見ていただいた。管理者は、今後は、地域の老人会の方 達にも参加を呼びかけたり、会議内容についても、認知症の ことをさらに理解していただけるような内容を採り入れたいと 考えておられた。	管理者は、運営推進会議を「地域資源として知らせていき たい」「利用者の姿を見ていただきたい」「一緒に楽しみたい」、 この3つの視点から今後は取り組んでいきたいと考えておら れた。会議を通して、地域の方達とお互いに知り合うことに 取り組み、地域とのつながりを深めていかれてほしい。又、会 議の日程等については、年間計画を立てる等して、参加す る側のご都合等も踏まえつつ、みなで検討されてみてほし い。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業 所の実情やケアサービスの取組みを積極的に 伝えながら、協力関係を築くように取り組んでい る	(自己評価) 市町村より、ケアマネージャーとの研修会に出席して頂き、 情報や意見、指導を頂いております。地域包括支援セン ターより介護相談員の受け入れ事項に対して受け入れ体制 をとっています。	
			(外部評価) 来年1月より、2ヶ月に1度、介護相談員の訪問が予定されて いる。運営推進会議は、開催の1週間ほど前に、地域包括支 援センター宛てに、電子メールを使って案内をされている。 担当者の日程上のこともあって、この1年ほどは、参加いた だくまでには至っていないようだ。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における 禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解し ており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしない ケアに取り組んでいる	(自己評価) 利用者の尊厳を傷つけないこと、職員も拘束のないケアを常 に実践しています。	
			(外部評価) 2階の階段降り口には、安全のために柵を取り付けてあり、利 用者は、エレベーターを使って昇降するようになっている。 夜間のみ、エレベーター乗り口には、鈴を付けた衝立を立 て、職員が音で気付けるようにされている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 事業所内に身体拘束等廃止についてを掲示している。身体に異常があると、申し送りで職員に知らせ常に虐待がないよう心がけている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 成年後見制度についてファイルにとじ職員がみれるようにしている。現在、利用者が成年後見人制度を利用している。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約内容について管理者が読み上げご家族に理解していただいているかその場で確認・疑問点について説明し、理解を得た上で契約書を作成している。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会や運営推進会議を行なっている。利用者の意見を参考に献立を立てたり、行事を行ったりしている。 (外部評価) 「家族会」を年3回開催されており、「敬老会」や「運営推進会議」と併せて行うこともある。ご家族の来訪時には、利用者の暮らしぶりを報告しておられ、ご家族からは、「ここまでしてもらっているのか」と、満足の声や感謝の言葉もよくいただくようだ。一方で、管理者は、ご家族が「遠慮しているのではないかと」も感じておられ、3月の「家族会」時には、「今後のことについての要望」をお聞きしたいと考えておられた。利用する側からの意見は、事業所のケアサービスのさらなる質向上につながる貴重な声でもあり、今後さらに、意見や要望を引き出す工夫を重ねていかれてほしい。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回の運営会議を実施しており、職員は、全員参加している。専務理事や介護部長又他事業所の所長にも参加して頂き、事業所の改善や利用者との関係の向上に反映している。	
			(外部評価) 4月に介護報酬の改定があったことを機に、職員は、「職員ができること」について話し合い、すべての職員で「節電」に取り組まれている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 年1回、管理者、部長、職員で、人事評価を行っており、内容は、自己評価、一次評価、二次評価、他書類を提出するようにしている。それによって、自己の勤務をふりかえり、ステップアップにつなげたり、給与の改正、また、上司と職員の連携につながっている。	
			(外部評価)	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 各職員は、色々な研修に参加出来る様にしている。その為に勤務表の調整又研修費や交通費の支給制度がある。	
			(外部評価)	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) グループホーム相互研修の参加や愛媛県地域密着型サービス協会ケアマネージャーの研修会、他の会にも出席している。	
			(外部評価)	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) ケアマネージャーからの情報提供や家族・本人とも話し合い、不安がなく、安心していただける様な関係づくりに努めている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 入所前には、本人、家族、ケアマネジャーと十分な話し合いをして不安な事や要望を聞き、事前に事業所の施設見学などをして、お互いに信頼出来る。関係づくりに努めている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人、家族と職員の連絡を密に行い、職員同志でも話し合い、利用者が不安なく馴染めるよう対応に努めている。初期計画を立て家族にもサービスについて説明している。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) なるべく、職員と一緒にいて作業をして頂いたり、不安や要望を聞く様にしている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 本人や家族からの要望や意向、又、現在、不安に思っている事などないか十分に聞いて安心して暮していける様努めている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人の馴染みの深い場所にドライブに行ったり、以前からの趣味などしてもらったりと環境作りに努めている。 (外部評価) 毎週日曜日に、ご家族が迎えに来られて、一緒にお好きなスーパー銭湯で入浴したり、買い物や食事を楽しまれる方がいる。行きつけの美容院に、ご家族と出かける方もいる。利用者の友人やご自宅の近所の方が訪ねて来られた時には、職員がお茶等をお出しして、居室でゆっくりお話できるよう、声をかけておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 日中共有室で過ごされる際、スタッフが一緒にテレビを見たり、ティッシュ折りをしたり、塗り絵をしたり個々の能力にあった過ごし方をさせていただいて居ります。利用者同志一緒に楽しんで頂くよう日光浴を楽しめるようベンチを設置し、植物の見えるスペースには、小さなテーブルに、CDを聞けるような場所がある。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 他所へ移られても近くを通ったら寄ってみたり、家族やケアマネジャーの方からの情報入手に心がけ何時でも相談に応じられるよう努めて居ます。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者と話し、希望・意向を伺ったり、出来るだけ生活習慣や趣味、生活歴を収集し、思いや暮らしが継続出来るよしている。 (外部評価) 職員は、利用者との日々の会話や様子から知り得た情報を、日々の経過記録に記入して、利用者個々の思いや意向の把握に努めておられる。アセスメントは、「身体面・口腔機能・食事・排泄・入浴・着脱・移動・コミュニケーション」等の項目に沿って、6ヶ月毎に更新しておられるが、現在、法人の3グループホームで、利用者の思いや意向をより具体的に探っていけるようなアセスメント様式の検討を重ねておられる。	利用者主体のケアをより具体的に実践していくためにも、利用者一人ひとりについて、これまでのことや現在のこと、これからの暮らし方の希望等の情報が得られるよう、アセスメントに工夫され、支援につなげていかれてほしい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 利用者の話しを家族の方がおみえになった時、同席させて頂き会話の中から生活のヒントを得たりサービスに対する利用者から意見を聞くようにしている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 利用者の生活のリズムにあった日常を過ごしていただけるよう心身の変化等に気をつけ本人の能力に合わせてリハビリに取り組んでいる。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			利用者・家族の要望をしっかりと聞き取る事により、カンファレンスを行い、利用者に合ったプランを介護計画作成に生かしています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(外部評価)	
			ご家族の来訪時に合わせて、利用者ご本人、担当職員、計画作成担当者が集まり、利用者の暮らしとケアについて話し合っておられる。「ご自分の洗濯物をたたむ」「新聞広告たたみ」等、利用者それぞれのできることに焦点を当てて、「できることを、できるだけ続けられるよう支援する」ことを大切にしながら計画作成に取り組まれている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			利用者が個々の考えや楽しみを見つけながら、やりたい事をして頂くよう努力しています。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			運営推進会議を通して、利用者の喜ばれる行事・催等を行い、家族・地域の方々と共に楽しんで頂けるようにしています。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) かかりつけ医による定期的な訪問往診や利用者の受診通院介助を行い他の受診以外は、家族と連携を計り家族にも協力していただき適切な医療を受けられるように支援している。	
			(外部評価) 利用者それぞれのかかりつけ医に診てもらえるよう、ご家族と協力し合って支援されている。歯科は、訪問歯科の利用ができる。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 介護職は症状変化がないか毎日健康チェックをして、訪問看護師に伝えて相談し、日常の健康管理を医療と継続し、利用者が適切な看護を受けられるよう支援している。	
			(外部評価)	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(自己評価) 入院された場合は、事業所の看護師も付添い利用者の情報提供をし、家族と一緒に診療の方針等について説明を受ける。また、定期的に病室を訪れ看護師・家族の情報交換を行なう。退院に向けてスタッフ等でカンファレンスを実施している。	
			(外部評価)	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 入所時より徐々に症状変化もみられる様になり、重度化した場合、医療機関との連携や家族の意向を聞き、訪問往診・訪問看護共に話し合いながらチームで共有支援している。	
			(外部評価) 口から食べることが難しくなり、医師からは、胃ろうの造設をすすめられたが、ご家族から、「できるだけ口から食べさせてあげたい」と希望があり、現在、職員が食事の調理方法等も工夫して、支援されている事例がある。利用者ご家族が、事業所での看取り支援を希望された場合には、「ご家族の協力が得られること」「医療機関との連携がとれること」等の条件がそろえば、事業所でできること等も説明して、今後のことについて話し合いを重ねながら支援されている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 急変時の研修マニュアルに沿って応急手当や家族の希望先医療機関に搬送し対応、また、疾患の後遺症による転倒、転落の事故があることを入所時、説明しており、緊急時、主治医・看護師への連携を行なっている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年2回、避難訓練実施、1回は、消防署職員を招き、訓練、夜間想定訓練も行なっている。防火設備定期点検実施、運営推進会議の家族地域の方との交流会で救助支援も依頼している。 (外部評価) 緊急時には、事業所の近くに住む職員が駆けつけるようになっている。又、1階アパートの住人にも協力をお願いされている。管理者は、1月に予定されている自治会の、「地域防災の会合」への参加を予定されている。利用者の状態や職員体制等、変化することを踏まえて、いろいろな場面を想定して、安全や安心のためにも、避難訓練を重ねていかれてほしい。	
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 自分の好きな事や特技のある方など経験を生かして楽器、塗り絵、折り紙等、個別に楽しんだり、利用者、皆さんと、歌やゲームをしてゆったりとした時間を過ごせる様支援している。 (外部評価) 管理者は、職員に「自分だったらどんなケアをされたいか」ということを考えて、利用者に接してほしい」と、常に職員に話しておられる。又、職員は、「人にされて嫌なことは絶対しない」ことに心がけて、日々のケアに取り組まれている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 季節ごとの外出、行事、個人が自由に希望される場所を選んで頂き思いが伝わる様働きかけている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどの ように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとりに合わせどのようにされたいか希望に沿って支援 している。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよ うに支援している	(自己評価) 散髪は、定期的になじみの美容師さんに来て頂いていま す。朝には髪をとかして頂く。服装については、バランスを考 えアドバイスをしている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食卓を拭いて頂いたり、海老の殻むきなど出来る範囲内で、 お手伝いをお願いし、献立の希望を聞き、食事を楽しみにし てもらえるようにしている。 (外部評価) 開設以来、「だしは鰹節と昆布で取る」「冷凍食品は使わな い」ことを決めておられ、旬の食材を使用して食事を手作りさ れている。調理担当職員が、隔日出勤して昼・夕食を作り、 その他は、出勤職員が交代で作っておられる。職員は、利 用者に、食べたいものをお聞きしながら献立を立てておら れ、寒くなると、ラーメン、芋炊き、シチュー等の希望が多い ようだ。又、井物は「食べやすい」と、利用者に好評のよう である。利用者の誕生日は、赤飯でお祝いしておられ、おか ずは刺身・から揚げのどちらかを選ぶようになっている。これ までは、職員も利用者と一緒に同じものを食べておられたが、 4月より、職員の休憩時間確保等もあり、職員は、別の場所 で持参したお弁当を食べるようになった。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 一日の食事の摂取量を記録し、本人の好物を摂取して頂 く。水分補給は、牛乳・お茶、時々コーヒーなど出来る対応を している。困難な方には、トロミをつけたり、水分補給用のゼ リーなどで対応している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 毎食後、本人の力を観察し、応じたケアをしている。義歯な ども合っていないようなら歯科往診お願いして診てもらっ ている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) トイレ誘導は、一人ひとりのパターンがあるので、その人に合った介助をしている。食事前後には、必ず声かけしている。トイレへ行かない利用者は、排泄の有無を確認し対応している。	
			(外部評価) 紙オムツや紙パンツを使用した状態で入居して来られる方もいるが、入居後は、「布パンツを使用してトイレで排泄する」ことを目標に挙げて、支援に取り組まれている。排泄チェックにより、利用者個々の排泄パターンを把握して、利用者の状態や季節等も踏まえて、利用者と相談しながら支援されている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 食事には野菜を沢山とりいれたり、水分を充分補給や運動をしているが、それでも便秘する時は、かんげ剤で対応している。	
			(外部評価) 勤務の都合上一人ひとりの希望通りの入浴は、出来ないが、週3回、曜日を決めて午前中に入浴している。タイミング等は、あわせて楽しく入浴して頂ける様努力している。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 勤務の都合上一人ひとりの希望通りの入浴は、出来ないが、週3回、曜日を決めて午前中に入浴している。タイミング等は、あわせて楽しく入浴して頂ける様努力している。	
			(外部評価) 日曜、祝日以外の週3回、午前中が入浴時間となっており、今のところ、その他の日や時間について利用者からの希望は聞かれないようだ。事業所では、楽しく入浴していただくために、「見張りのにならない」よう、個々の身体状態等に合わせ、湯温の調節等もご自分でできるよう支援されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 昼食後、お昼寝をして頂いているが、利用者が休みたい時には自由に休んで頂いている。寝具等や室温調整にも気をつけている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 一人ひとり手渡しで名前を確認してから飲んで頂く。症状の変化があった時、介護記録に書いて申し送っている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 自室の掃除、食台拭き等個々の能力に合わせ、ペーパーをたたんだり、新聞広告を折って頂いています。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天気の良い日は、近くを散歩したり、車でドライブいたりしています。家族が外出や外泊してくださる家族もおられます。 (外部評価) 天気の良い日は、事業所の周辺を散歩されたり、時には河川敷まで足を延ばされることもある。10月には、法人デイサービスからの日帰り旅行に参加された方もいる。11月は、数名の利用者が、マイントピア別子まで職員と一緒に紅葉を見にドライブされた。管理者は、利用者の重度化や職員の体制等から、外出支援に難しさを感じておられるが、利用者が馴染みある地域で暮らし続けられるよう、地域資源と利用者をつなぐような支援にも取り組まれてほしい。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 現在、金銭の自己管理をされている方は、いません。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者の希望で、自由に使用出来る。家族の方からの手紙や写真を持って下さる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 玄関口は、プランターに季節の花を設置し、階上のベランダには、食事に添える野菜や花を育てます。共有室は、適度な室温や照明に、気を付けゆったりとした時を、過ごせる様にしている。又共有室(食堂)と台所と別室にして、危険が無い様にし、手作りの美しい、温かい食事を提供している。廊下は、歩行訓練や筋肉の維持、強化を考えて、長く、広い危険のない、スペースを取り、歩行出来る。窓からの採光もステンドグラスを付け、明るい雰囲気作りで、太陽の日差しを受け、ゆっくり過ごしていただけます。	
			(外部評価) 玄関には、職員が植えた葉ボタンのプランターやシクラメンの鉢植えを飾っておられた。事業所は、建物の2階に位置しており、南側に面する廊下は日当たりが良く、冬場はとても暖かい。テーブルと椅子が配されており、窓からは、河川敷の様子が眺められ、利用者のお気に入りの場所になっている。ベランダのプランターには、ねぎや春菊、サニーレタスを育てておられ、季節の花もあり、窓越しに見て利用者は喜ばれるようだ。居間には、利用者と職員と一緒に飾りつけをしたクリスマスツリーが飾られていた。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 共有室は、大・中のテーブルを配置し、テレビを何時でも、独りでも自由にみられる様にし、新聞や雑誌やぬりえも楽しんで頂ける様にしている。壁面には、カレンダーを掛け、日付・曜日・天気等の確認を毎日、行なっている。廊下には、危険の無い所に、ソファや椅子を置き、外の景色を眺めたり、座って話し合いが出来る様になっている。	
			(外部評価) 入居者の方が持って来られた大切な衣類等は、タンス等にたたんで入れ、個性的な生活感ある部屋になっている。又、クローゼットが備え付けられていて、寝具や季節以外の衣類の収納に便利です。清潔な部屋で過ごせる様に、毎朝、各部屋・廊下等を掃除してトイレを磨き、整理整頓を行なっている。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入居者の方が持って来られた大切な衣類等は、タンス等にたたんで入れ、個性的な生活感ある部屋になっている。又、クローゼットが備え付けられていて、寝具や季節以外の衣類の収納に便利です。清潔な部屋で過ごせる様に、毎朝、各部屋・廊下等を掃除してトイレを磨き、整理整頓を行なっている。	
			(外部評価) 使い慣れたタンスを持ち込んでおられたり、CDラジカセでお好きな演歌等を居室で聴く方がいる。長寿祝いの表彰状を飾っておられたり、生まれ育った地区の太鼓台のポスターや地区名入りの日本手ぬぐいをご家族が持って来られ、飾っている方も見られた。時間が気になる方は、壁の見やすい位置に時計をかけておられた。乾燥が気になる居室は、ご家族にお願いして加湿器を用意していただき、設置されていた。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 利用者が出来る事を把握し、その人らしく笑顔で、自立した生活が送れる様、コミュニケーションをはかり解りやすい言葉遣いで、声かけに努めています。食事時の椅子の位置は、机に名前を記し、座って頂く。トイレの使用も基本的には、各部屋の近くの決まった場所を利用して頂いている。	
			(外部評価)	